

○岩手南部森林管理署遠野支署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和6年10月2日（水）に岩手県遠野市の袋畑国有林で開催された「令和6年度 採材現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は曇り空のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など70名を超える参加を得て開催されました。遠野支署長の挨拶後、署の担当者より現地の概要等について説明があり、青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向についての説明とともに、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項について説明しました。続いて、岩手県森林組合連合会の担当者から県内の市況動向や、広葉樹等の取り扱いについての説明があり、実際の採材の検討に移りました。

会場に準備した広葉樹7本の試供木を対象に5班に分かれ各班3本ずつ検討を行いました。各班による試供木の検討後、各試供木について代表の1班から採材案の説明があり、それに対して岩手県森林組合連合会より採材の解説や留意事項などの情報提供がありました。また、採材の検討後、造材作業のデモンストレーションも行われ、表面のカビや割れがどの程度の深さまで入っているかを確認することができました。表面のカビについては、はっきりと中まで広がっており、参加者からも質問が多く寄せられました。実物を見ながら意見交換することで広葉樹の欠点についての理解を更に深めることができました。

最後に青森事務所から、採材検討の講評と労働安全等についてお話をさせていただき、岩手南部森林管理署長からの閉会の挨拶をもって採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



(広葉樹の採材検討)



(カビの深さ確認)